

令和5年度 放課後等デイサービスぶどう畑

事業所職員 自己評価表

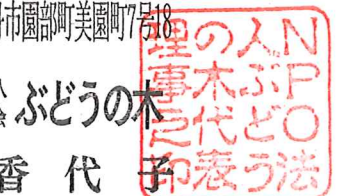
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	意見	取組
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7					
2	職員の配置数は適切であるか	6	1				
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7					
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2				日々の打合せにPDCAサイクルを行っている。
5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1				
6	この評価表の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	5	2				廊下に張り出し、HPにも掲載している。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2			第三者による評価はできていない。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1				
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1				
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	1			
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7					
12	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	7					
13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1				
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7					
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7					
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	2		・ノート記入はないが、気が付いたことは伝える、活動記録用紙に記入するようにしている。	報告、連絡を密に行い次日の支援に生かしている。

	チェック項目	はい			無 回 答	意見	取組
		はい	どちら とも いえ ない	いいえ			
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスの計画の見直しの必要性を判断しているか	7					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	3				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2				
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7					
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	2	1		医療同行行うか、保護者からの報告を受け対応している。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2				
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を共有する等しているか	2	5				
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7					
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5			秋祭りや支援講座の託児等で交流しているが、交流の必要性について要検討。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3				
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2			・伝えてはいるが、共通理解は困難。	保護者にはモニタリング等の十分な時間で共通理解を求めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7				・参加者が少ないことが課題	参加者拡大が今後の課題である。
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1				
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7					
32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7				・参加者が少ない	どう広報し、参加の意識を高めるかが課題である。

	チェック項目	はい			無 回 答	意見	取組
		はい	どちら とも いえな い	いいえ			
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7					
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				毎月発行し、保護者も心待ちにしている。	
35	個人情報に十分注意しているか	7					
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7					
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3			発達障害支援講座や秋祭りでは広く参加者がある。	
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1				
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7					
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1				
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7					
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2		2	保護者を通じて医師の指示を伝達してもらっている。。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1				

〒622-0002 京都府南丹市園部町美園7号18

特定非営利活動法人
発達障害を考える会



ぶどうの木

西田 香代子